

編 集 後 記

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報『ジェンダー研究』第14号が無事、刊行の運びとなった。これもひとえに執筆者の方々をはじめ、査読者と編集委員の先生方、校正そして出版を請け負ってくださった方々より惜しみないご協力をいただいたおかげである。心よりお礼申し上げる。

本号では、依頼原稿としてジュリー・ネルソン教授（マサチューセッツ大学）より巻頭の論文、また講演会記録をエヴァ・キテイ教授（ニューヨーク州立大学）よりご寄稿いただいている。両者ともケアという、現代における喫緊の課題に応答しようとするものであり、2010年度にお茶の水女子大学にて開かれた公開シンポジウムでの講演に基づいている。それぞれケアに注目し、ネルソン教授は経済学、キテイ教授は哲学の領域においてジェンダーの視角から分析しつつ、近代的主体に挑戦的な理論を構築してきた。ネオリベラルな資本主義のもとで生じているあらたなジェンダー格差への問題提起は、何人も免れられないにもかかわらず、女性の領域とされ、ゆえに等閑視されてきたケア「労働」、そしてケアを介した「依存＝被依存」という関係性に収斂されつつあるように見える。そのような中、グローバル化を射程に含めた最新のケア理論を『ジェンダー研究』に収録できたことは、大きな喜びである。

投稿論文としては、若手研究者による論文、および翻訳の計7本を掲載している。科学哲学、経済学、教育学、文学、社会学、そして開発学とさまざまな分野からの意欲的な研究成果であり、考察対象もアジアから西欧の各地域に渡っている。研究アプローチと分析対象にみる多様性は、社会科学、人文学、自然科学の各領域において、いまだマイナーであるとはいえジェンダー視角が根づきつつあることを示しているように思う。

書評欄では、近年活発化しつつある、科学史におけるジェンダー研究に関する2冊、そして継続する植民地主義の問題を提起する2冊を取り上げた。後者に関していうと、『モダンガールと植民地的近代』は、科学研究費補助金基盤研究（A）「東アジアの植民地的近代とモダンガール」（2003～2006年度）による当センター共同研究プロジェクトの成果刊行であり、『軍隊と性暴力—朝鮮半島の20世紀』は、朝鮮半島における植民地支配から現在の軍事化に至る問題を分析したものである。2010年に韓国併合100周年を迎えたが、両書の刊行はまさに時宜を得たものであり、書評を掲載できたことをうれしく思う。

このたびはじめて『ジェンダー研究』に携わることとなったが、ジェンダー研究が厚みを増しており、領域横断性を保ちつつ、各分野において挑戦的な研究が蓄積されつつあることを実感している。ジェンダー研究はいまだにマイナーではあるが、本号の制作に関わることで、その発展にささやかながら寄与できたとしたら幸いである。また本号では、比較的投稿数が多く、数回に渡り編集会議が開かれ討論が行われた。査読者および編集委員の各先生方にご尽力いただいたことに深く感謝申し上げます次第である。

編集事務局 徐 阿貴（研究機関研究員）

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報
『ジェンダー研究』

第14号 編集委員会

委員長	足立真理子	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター長・教授
	坂元 章	人間文化創成科学研究科先端融合系教授
	徳井 淑子	人間文化創成科学研究科文化科学系教授
	三浦 徹	人間文化創成科学研究科文化科学系教授
	森 義仁	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系准教授
	舘 かおる	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター教授
	申 琪榮	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター准教授
事務局	徐 阿貴	ジェンダー研究センター研究機関研究員

平成23年3月18日 印刷
平成23年3月25日 発行

編集・発行 **お茶の水女子大学ジェンダー研究センター**

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
Tel 03-5978-5846 Fax 03-5978-5845
E-mail igsoffice@cc.ocha.ac.jp
URL <http://www.igs.ocha.ac.jp/>

印刷・製本 **株式会社コムラ**

Tel 058-229-5858(代) Fax 058-229-6001
